

『絵本の魅力』

子ども達は毎日ように、保育園で絵本と出会い、絵本の世界を読み語りという形で楽しさを共有しています。

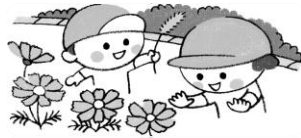
1 歳児くらいになると自分から絵本棚の中からお気に入りの絵本を選び「これよんで！」とばかりに保育者の膝の上に座ったり、動物の絵本を皆で読んでもらっている時に、同じ動物の出てくる絵本を見つけて「おなじじ！」と、誇らしげに伝えようとしたり姿もみられます。

今やIT 革命の時代です。スマホでゲーム、大人より早く操作を覚えたり、アニメーション視聴など立体で動く世界にワクワクと夢中になることもよいのかもしれませんが。

子ども達が本当に求めているのは、動きのある世界だけでしょうか。絵本の世界の楽しさだけでしょうか。

本当に求めているのは、絵本を媒介にした大人との関わりや心地よさや受け止めてもらっているという実感なのではないのでしょうか。

子ども達がイライラしている、子ども達を叱ってばかりいると悩んでいるならこそ、ほんの5分でいいので親子で絵本の時間楽しんでみてはいかがでしょうか。『四角い世界に円い心』絵本の魅力の一つです。



『職員の資質向上のために』

～幼児期の終わりまでに育てて欲しい⑩の姿～

個々の育ちやクラスの子が活動する姿を見た時、自分のクラスの保育がどの方向に進んだかをチェックする観点として、下記の⑩項目から保育の振り返りをする事で、次の方向性を考えるようにすることが大切にされる保育を目指したいと考えています。この⑩項目は小学校に上がる個人の評価ではなく、足りないところがあればその方向に保育を変えていくという職員側のヒントです。職員の資質向上のため、各クラスでの保育実践を職員同士で見合い（保育公開）、振り返りをする習慣を大切に、改訂になった保育所保育指針の目指す方向性を考えたいと思っています。

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現



平成30年10月の保育園だより



坂みみょう保育園

『文字や数字を教える前に』

～子ども達と向き合う姿勢の大切さ～

園庭のゆれるコスモスの上をとぶ赤とんぼや虫の声とともに秋風を感じる頃となりました。

先月は、被災地支援として、歌のお兄さんこと佐藤弘道さん、玩具クリエイターの野出正和さん、こんちゅう館の百野学芸員、体育指導の阿部玲子さん、広島にある各テレビ局のアナウンサーの皆様など、たくさんの方が子ども達との触れ合いを企画してくださいました。

子ども達は、直ぐにそれぞれの皆様の得意分野の世界に入り込み、絵本やお話の世界を楽しみ、ともに歌い、手や体を動かすことに喜びを感じたり、昆虫の特徴を発見したりなど、いつもとは違う環境の中で、子ども達も職員もたくさんの学びがありました。

夏頃に比べるとそれぞれの年齢により表現力は異なりますが、思ったこと、考えたことを表現したり、子ども達同士で色いろなことを伝え合うことが、少しずつ豊かになってきているように感じています。

あるアナウンサーの方が、インタビューで「今、したいこと何？」と年長児に聞かれました。「外国に行きたい！」「どうして？」「平和のこと考えたから確かめたい！」「カープの選手で誰が好き？」「新井が辞めるけん、誠也（鈴木）に頑張ってほしい！」色いろな情報をもとに子どもたちなりの言葉で思いを伝えていました。何だか家庭での会話も目に浮かぶようです。

文字や数字を保育園でも教えて欲しいという保護者の皆様のご意見もありますが、家庭で絵本をしっかりと読んでもらい、しっかりと聞いてくれ会話や否定されない**秀田家の家族がいる**と表現力が豊かになり、文字や数字への興味が広がり、小学校入学後の文章を書く力、ひいては全ての学力の向上へとつながるのではないかと考えます。

もちろん保育園でもあそびを通して、文

字や数字への関心を持てるような環境作りはしていくつもりですが、**0歳児からの大人の受容的な関わり方で、子ども達に向き合うことが学力も含め生きる力の基盤**になることは確かです。

豪雨災害後園庭を整備するために、トラック一台分の真砂土を山のようにしていたら、初めは恐る恐る近づいていた子ども達でしたが、乳児さん達は山に上がったりが下がりながら見てみるとばかりに自分で拍手。2歳児は、砂場道具を運んでままごと遊び。駆け上がって、てっぺんからみんなで「ヤッホー！」。年少児は、水を運んではベチャベチャ感触を楽しみ、中には寝転んで空を眺めている子どももチラホラ。年中児や年長児はトンネル作りに挑戦。そのうち異年齢入り乱れて、模倣したり、会話しながら、思いのままに真砂土と関わって、試したり工夫する姿がありました。

本来、子ども達は教えなくても自分が面白いと思ったら、物や人と関わりながら学びを深めていくのです。真砂土の山はだんだん低くはなりましたが、あそびは続いています。

今月は『アートな生活とあそび展』を計画しています。乳児も幼児クラスも作品展の概念を払拭して、子ども達が物や人と関わった痕跡としての『あそび』を紹介できる『アートな空間』になればいいなと思っています。

現在、園開放や小屋浦パオちゃんルームの職員が担当して、（子育て支援センター仮設）ホールを毎日開放していますが、未入園の1～2歳児さんが、段ボールやペットボトルだけでも色いろなあそび方を発見する姿に感動が一杯です。子育て支援の立場からも保護者の皆様とともに、子ども達のしようとすることを見守り、感動を受け止め、しっかりと向き合うこととは何かをあそびを通して考えていければと思っています。

（園長 倉本弘子）

アートな生活とあそび展

子ども達が保育園で生活していると色いろな世界に出会う日々です。その世界の中で驚き、興味関心を広げ、色いろな物に働きかけ、頭の中に思いを描き、想像や創造の世界を楽しむ姿。その世界と一緒に楽しみながら覗いてみましょう。

日時：10/20（土）10時～14時
場所：坂みみょう保育園 ホール（幼児）
2F 保育室（乳児）
1F（食品販売）

※保護者会さくらんぼ会役員の皆様により、**用品バザー販売**もあります。お早めにお気に入りの商品がありましたらご購入ください。
※食品バザーについては、前売り券購入の食品、現金販売の食品などあります。別紙にてお知らせ致しますので、事務室まで代金を添えて申し込んでください。（期限厳守）



お泊り保育（年長児）

7月6日の豪雨災害後の状況を配慮し、お泊り保育の計画を一端中止しておりましたが、計画を練り直し、保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、下記の日程で再度実施を目指したいと思っています。つきましては、事前説明会を10月5日（金）の夕方①16時30分～②17時30分～の二回に分けて実施したいと思います。参加できない方には、担任より個々に説明をさせていただきます。（詳しくは後日お手紙配布予定）

日時：10/27（土）～10/28（日）
場所：広島市青少年野外センター

